

2019年度五月祭学術企画「東大SPHのススメ」
開催報告及びアンケート集計結果

2019年5月18日（土）19日（日）に開催された東京大学五月祭の一日目にて、表記学術企画を実施しました。一人でも多くの方に、公衆衛生や東大SPHに興味を持ってもらうことを目的に、在学生・修了生から東大SPHでの学生生活、研究、進路、卒業後について紹介を行ったものです。当日は約220名もの方々にご来場いただきました。たくさんのご来場、誠にありがとうございました。

以下に、来場者を対象としたアンケートの集計結果を公表します。

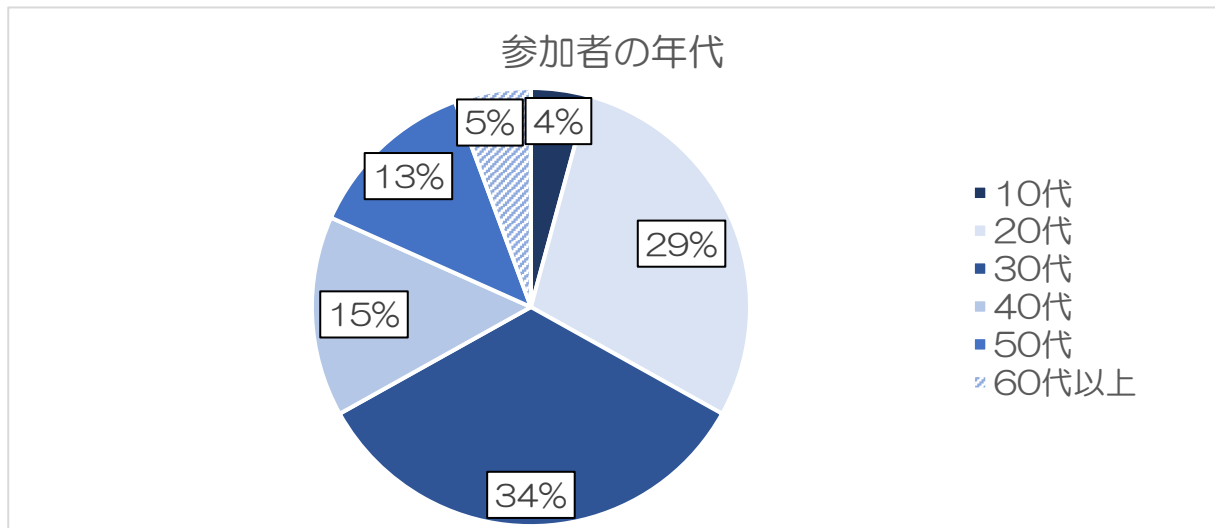
次年度の同様の企画開催は未定ですが、本集計結果等を踏まえて、今後検討していきます。

【回答数】

161名（回答率73.2%）

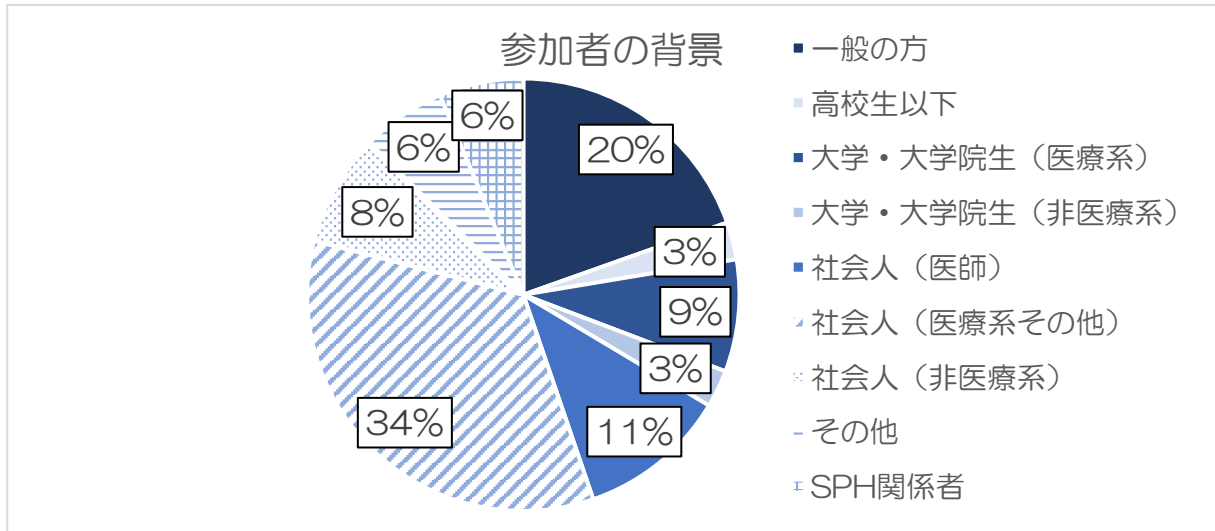
【参加者の年代】

20・30代の方々に多く（約3割ずつ）ご来場いただきました。



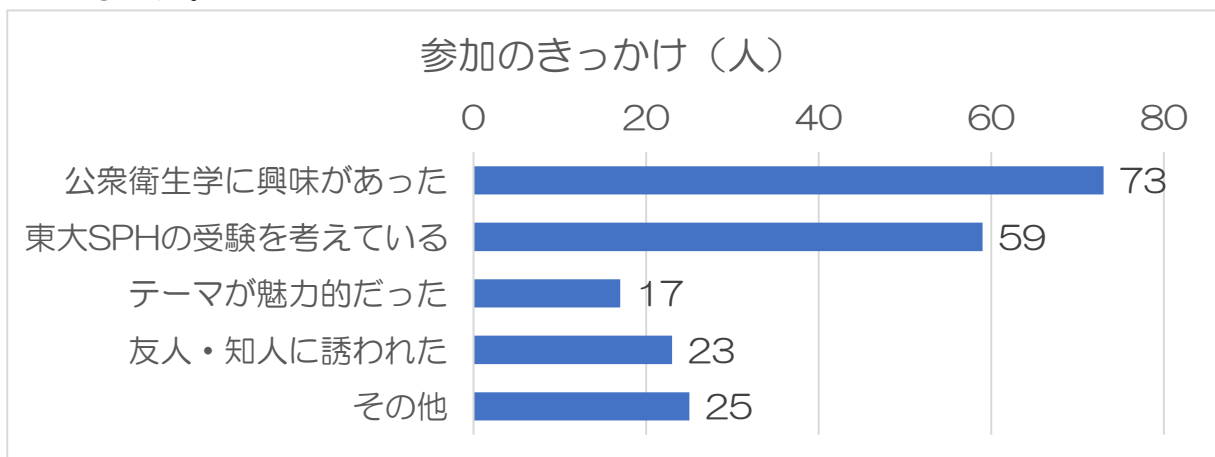
【参加者の背景】

医師以外の医療職が約3割、次いで一般の方が約2割となっていました。



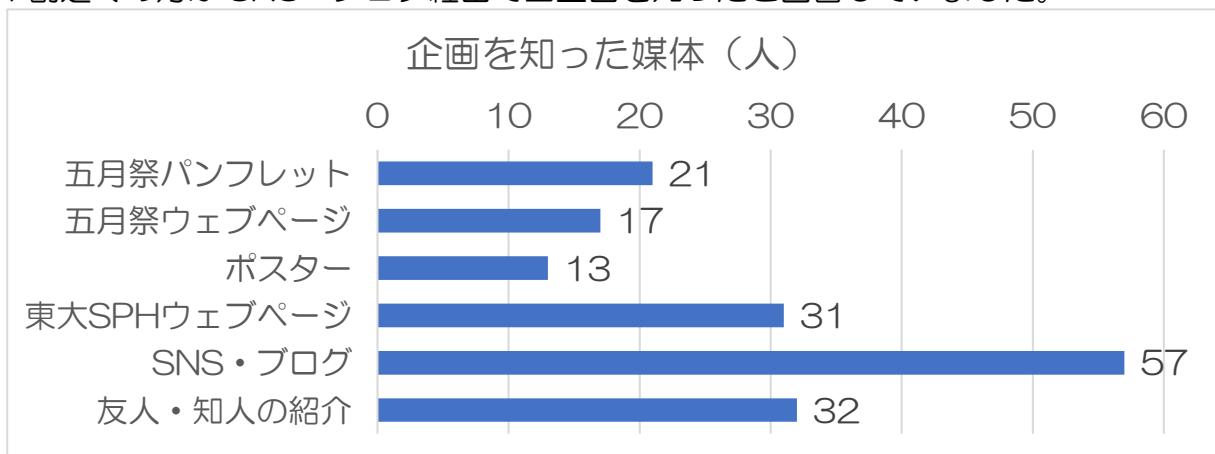
【参加のきっかけ】

すでに公衆衛生学に興味をお持ちの方、また東大SPHの受験を考えている方が多くご来場していました。



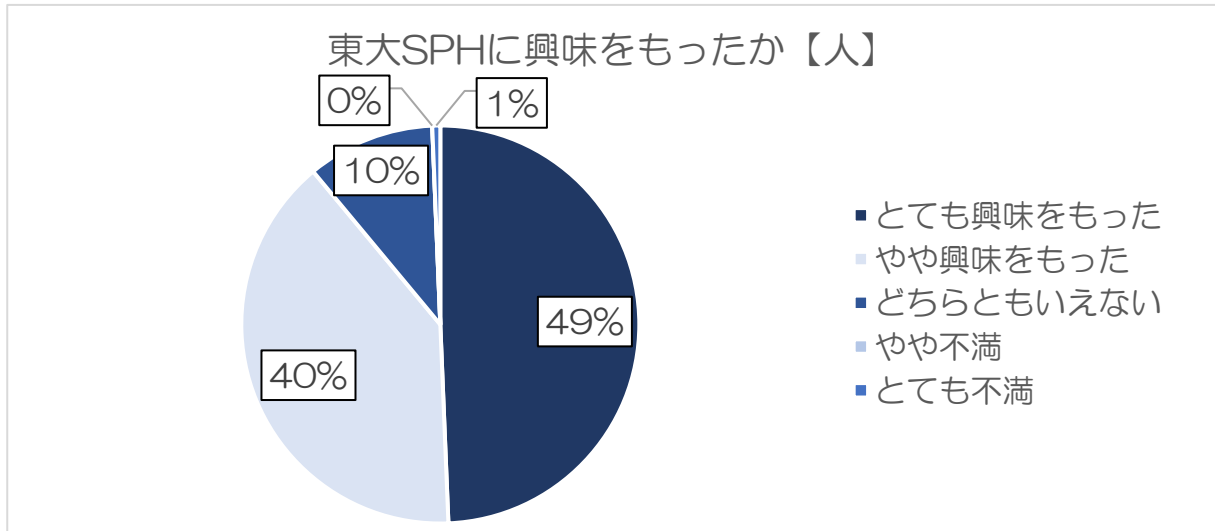
【企画を知った媒体】

4割近くの方がSNS・ブログ経由で当企画を知ったと回答していました。



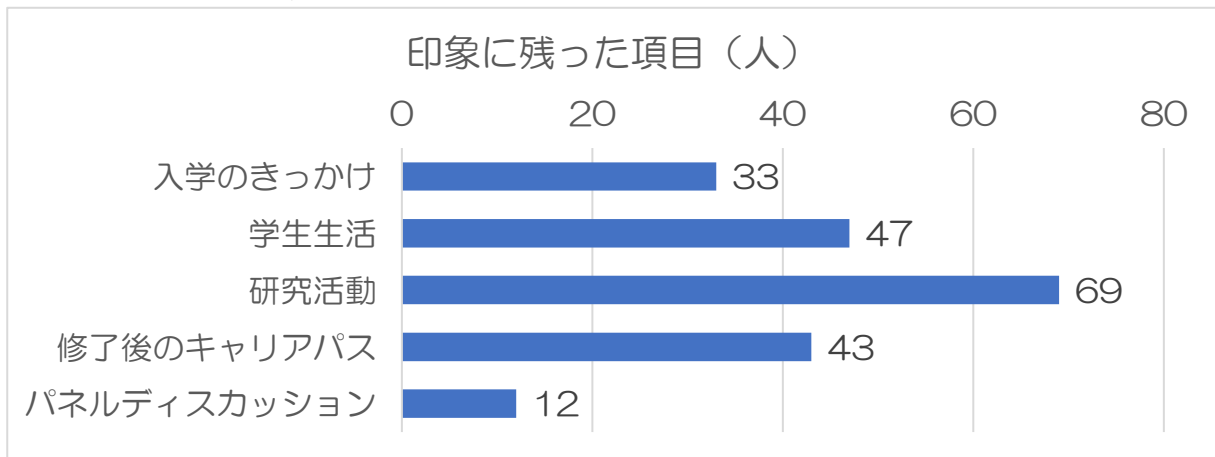
【東大 SPH に興味を持ったか】

すでに関心のある参加者が多かったためか、興味を持たれた方が約 9 割でした。



【印象に残った話題】

研究活動についての紹介が印象に残った方が多かったようです。



【もっと聞きたいテーマ】

以下に一部を抜粋します。

- 東大その他 SPH の違い
- 授業そのものの内容、時間割
- SPH から政府機関に就職した人の話
- 子育ての両立（学内保育園の入りやすさ、教員の理解）
- ワークライフバランス
- SPH で学んだ知識がどんな場面で役に立ったのかケーススタディ

これ以外にも多数のご意見をいただきました。